

《 発表資料 》

2001年11月27日
日本経済新聞社

「日経平均株価」構成銘柄の取扱いについて

日経平均株価（日経平均）の構成銘柄である「大和銀行(8319)」が、「近畿大阪銀行」などとの共同持ち株会社設立により、12月5日に上場廃止となります。本件に関する構成銘柄の取扱いは、日経平均の構成銘柄選定基準に照らして、以下のとおりとします。

1. 「大和銀行」に代えて、新設される共同持ち株会社「大和銀ホールディングス(8308)」を採用する。
2. 「大和銀行」を12月5日に除外し、「大和銀ホールディングス」を新規上場の翌日である12月12日に補充する。（「大和銀ホールディングス」の、みなし額面は50円とする。）
3. 「大和銀行」の上場廃止日である12月5日から、「大和銀ホールディングス」の新規上場日である12月11日までの間（5営業日）は、224銘柄で日経平均株価を算出する。この場合、採用銘柄数が変化する都度、除数を修正し、指数としての継続性を維持する。

なお、「大和銀行」は日経500種平均株価（日経500平均）及び「業種別日経平均（銀行）」にも採用されています。これら指数についても、日経平均に準じ、「大和銀行」に代えて「大和銀ホールディングス」を採用することとし、上記3と同様の期間、所定の銘柄数に満たない銘柄数で各指数を算出します。

以上